

カーライフの“万が一”をしっかりと記録

ドライブレコーダー



もろコミ ご契約のおクルマに **無料サービス**

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み **8,000円** (※) に含まれています。さらに、車を返却する必要もありません。

※8,000円は、ボーナス月加算ありの金額となります

「私は、一日266円で

(※)

車に乗ってます」

※266円は、ボーナス月加算額を含んでおりません



※ボーナス月加算あり

カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル
☎0120-0120-55



林 成治 Seiji Hayashi
 出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
 1981年4月:プロミス株式会社入社
 2008年4月:同社執行役員就任
 2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
 2008年10月:同社代表取締役就任
 2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
 2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
 2011年1月:同社取締役退任
 2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任

『車市場の4つの波』

これからの車社会は、大きく変貌し、想像もできないような形になるうとしている。その変化の波は4つある。1つ目は、エネルギーの変化。2つ目は、運転方法の変化。3つ目は、2つ目の運転方法の変化が我が国の高齢化問題に与える影響。4つ目は、カー・グローバル化によるものである。

1つ目のエネルギーの変化についてだが、このコラムで述べてきたように、2030年には、全体の40%〜50%が電気自動車化し、蓄電する時間は格段に短くなるだろう。経産省の発表によると、平成6年度末の6万カ所超をピークに、ガソリンスタンドの数は激減し平成29年3月31日には、3万1467カ所になった。一方で、電気自動車の充電箇所は、激増している。この傾向は、東京オリニピックに向けて、より速度を上げ、電気自動車の充電箇所は、6万カ所から7万カ所にまでなると言われている。

2つ目の波として、年内に発売されるテスラ社製のModel 3という新車は、日本の車の自動化のレベルでいうと、ほぼ完全な無人自動車として機能するとも言われている。手元のスマートフォンで駐車場の出し入れから始まり、扉の開閉、さらには自動運転による目的地までの到達と全てがこなせる。テスラの担当者を確認したところ、日本の法律の解除に合わせて車自体の機能を上げていくつもりだと述べていた。

3つ目の高齢化問題に与える影響だが、実は、この車の自動化が市場的には大きな追い風となる。75歳を超えた高齢者の免許証の回収を進めてきた行政であるが、運転の自動化に伴って、安全走行が出来るようになる。しかも大量輸送機関が出来るのも時間の問題で、それらの点で車の自動化は高齢社会の問題を大きく解決してくれると言える。

4つ目のカー・グローバル化について。先日、日産自動車と中国の合弁会社に1兆円を投資すると発表した。これは、2022年までに電気自動車を20車種以上も投入し、22年の中国国内での総販売台数を約260万台に引き上げるといふ話である。

中国は2017年の新車販売台数2887万9000台と過去最高を更新し、9年連続で世界一の自動車市場となった。自動車メーカーは、中国市場なしには存在すらおぼつかない。

カーコンビニ倶楽部は、国内の市場の変化に合わせて、テクノロジーと国際マーケットに敏感に反応する経営者の集団を早急に変える必要がある。必要となってきた。